

## 1 収益的収支の状況

### (1) 収益

年延べ入院患者数は、前年度に比べ2,324人（17.8%）減少し、10,744人となった。平成29年度に70.4%まで回復した年間の病床利用率についても、令和元年度は53.4%まで低下した。地域包括ケア病床の活用などにより患者一人当たり診療収入の向上に努めたものの、入院収益は、前年度より28,181千円の大幅な減収となり287,878千円となった。

外来患者数は、年間延べ37,107人で前年度に比べ2,460人（6.2%）の減少となり、外来収益は、前年度より11,841千円減少し257,892千円となった。

また、損益に関わる一般会計からの繰入金については、前年度より6,000千円の圧縮を図ったが、総額で380,000千円と依然高い水準にある。

この結果、総収益は1,009,124千円となり、前年度に比べて51,380千円（4.8%）の減収となった。

入院、外来患者の減少は、人口の減少や医療環境の変化の影響が大きい。当院は、ほぼ小国町の町民のみを診療対象としているが、町の人口は平成30年度末から令和元年度末にかけて2.7%減少しており、これが、病院収入の減少に直接影響している。また、医療環境の変化については、平成30年度の診療報酬の改定により在宅復帰を目指した入院に手厚い配分がなされ、大規模病院や専門病院における手術から在宅復帰まで対応する動きが加速しており、これらの病院からの転院患者が減少傾向にある。加えて、安定した常勤医の確保が困難になっており、手術や治療内視鏡といった診療を安定的に実施することが難しくなっていることも患者の減少に影響している。

### (2) 費用

医業費用では、患者数の減少に伴い材料費を抑制したことに加え、耐用年数が超過した医療機器等を継続使用することで減価償却費の減額を図ったほか、各種経費の節減に努めたが、人件費及び派遣医師の負担金が増額となり総額では4,845千円の減額にとどまった。医業外費用では、消費税率の改正や電子カルテ更新事業の実施に伴い消費税関連の雑損失が大幅に増加した。この結果、総費用では5,580千円の増額となった。

### (3) 収支

前年度より収益が減少し費用が増加する結果となり、純損失は、前年度から56,960千円拡大し80,344千円となった。そのため、総収支比率は、前年度から5.2ポイント悪化し92.6%まで低下した。

## 2 欠損金の状況

令和元年度まで8年連続の赤字となり、平成30年度には14,513千円の未処理欠損金を計上することとなったが、令和元年度において累積欠損金は、94,857千円まで拡大した。

## 3 資本的収支の状況

資本的支出の建設改良費において、老朽化した設備、機器の更新事業を実施すると共に、耐用年数を超過して使用していた電子カルテシステムの更新事業を実施した。収入では、電子カルテシステムに係る企業債及び一般会計出資金、医療機器等整備費に係る国庫補助金を活用し、財源の確保を図ったが収支不足額122,865千円が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

赤字が継続していることに加え赤字額が拡大しているため、補てん財源となる過年度分損益勘定留保資金の残高が減少しており、企業として体力低下が進んでいる。

## 4 目標の達成状況

病院経営改革プランにおいて設定した目標15項目のうち、平成29年度は6項目、平成30年度は4項目の達成であったが、令和元年度においても4項目の達成にとどまった。

## 5 数値目標との比較表

別紙のとおり

【 数値目標との比較 】

( ) は実績、○は達成、×は未達成

項 目	Ⅱ期プラン			新プラン計画期間					経営指標	
	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度計画		
(1) 経常収支比率 (%)	90.1	98.6	90.4	× 96.8 (87.8)	× 98.7 (96.8)	× 103.3 (98.0)	× 109.2 (92.7)	110.4	102.9	
(2) 医業収支比率 (%)	74.8	76.1	69.5	× 73.7 (64.6)	× 74.3 (69.8)	× 75.8 (69.6)	× 76.5 (66.2)	77.1	86.5	
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)	35.7	42.1	42.4	× 39.9 (47.9)	× 40.1 (51.0)	× 40.4 (53.3)	× 40.5 (61.8)	40.9	27.3	
(4) 職員給与費の医業収益に対する割合 (%)	76.6	75.8	85.1	× 80.9 (92.7)	× 79.7 (82.9)	× 77.0 (85.1)	× 75.9 (90.3)	74.8	62.0	
(5) 材料費の医業収益に対する割合 (%)	13.5	13.8	13.8	× 12.8 (14.1)	○ 12.7 (12.4)	× 12.6 (12.7)	○ 12.5 (12.2)	12.3	6.5	
(6) 薬品費の医業収益に対する割合 (%)	5.9	6.2	6.1	× 5.7 (6.5)	× 5.7 (6.6)	× 5.6 (6.6)	× 5.6 (6.0)	5.5	12.8	
(7) 減価償却費の医業収益に対する割合 (%)	15.5	14.7	16.8	× 15.7 (18.4)	× 15.6 (16.4)	○ 15.6 (13.7)	○ 15.5 (12.4)	15.4	6.2	
(8) 病床利用率(一般病床) (%)	73.9	81.0	69.9	× 70.0 (59.1)	○ 70.0 (70.4)	× 70.1 (65.1)	× 70.2 (53.4)	70.3	71.2	
(9) 一日平均患者数	入院(人)	41	45	38	× 38 (33)	○ 38 (39)	× 38 (36)	× 38 (29)	38	49
	外来(人)	151	154	177	× 147 (143)	× 147 (139)	× 147 (137)	× 149 (132)	146	150
(10) 患者1人1日当たり診療収入	入院(円)	21,825	21,904	21,732	× 22,124 (20,150)	○ 22,234 (24,179)	○ 22,345 (24,184)	○ 22,457 (26,795)	22,569	22,331
	外来(円)	7,453	7,461	6,410	× 7,431 (7,377)	○ 7,416 (7,826)	○ 7,401 (8,045)	○ 7,387 (8,066)	7,372	7,787
(11) 職員1人1日当たり診療収入	医師(円)	413,348	437,320	397,674	× 382,194 (378,804)	× 359,426 (332,929)	○ 376,243 (401,227)	× 398,660 (298,235)	396,464	351,394
	看護部門(円)	47,214	49,622	42,941	× 46,483 (41,639)	○ 48,571 (49,901)	× 57,007 (46,118)	× 60,403 (42,727)	66,077	46,234
(12) 薬品使用効率 (%)	111.5	113.4	118.2	○ 121.6 (124.3)	× 121.5 (107.2)	× 121.5 (109.3)	× 120.8 (101.6)	122.7	117.1	
(13) 病床100床当たり職員数	医師(人)	7.3	7.3	7.3	8.2 (7.3)	9.1 (9.1)	9.1 (8.9)	11.2 (9.1)	11.2	7.5
	看護部門(人)	68.0	67.6	66.7	67.3 (69.5)	67.3 (65.5)	63.6 (77.3)	73.3 (63.5)	66.7	59.9
	全体(人)	131.5	135.1	134.0	137.3 (138.4)	121.3 (125.8)	118.2 (145.1)	144.4 (122.0)	133.3	103.4